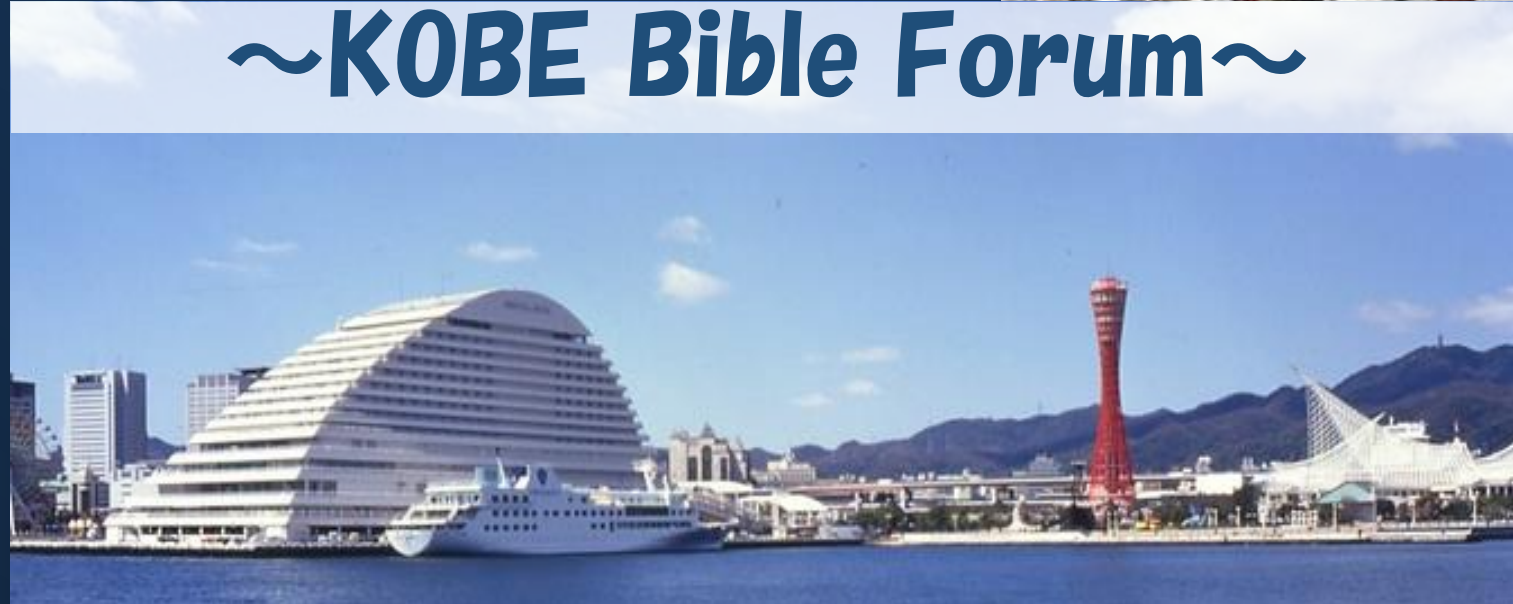


Bible Forum in KOBE

~KOBE MOTOMACHI Bible Forum~



~KOBE Bible Forum~



**ニックネーム
KBF(神戸ビーフ)
KMBF(コンビーフ)**

第12回 最終回 神戸元町聖書フォーラム

クレイ聖書解説コレクション
「ヨハネの黙示録」講解メッセージ

黙示録22：6～22：21

2016/12/24(土)

お願い！

このパワーポイント資料は

Clay クレイ聖書解説コレクション 「ヨハネの黙示録」

を基に作成しております。

ハーベスト・タイム・ミニストリーズから発売の
電子版か紙版テキストと合わせて
必ずご参照・ご活用下さい！

*神戸聖書フォーラムでまとめ買いしております。
お求めの際はお気軽にお声掛け下さい。

1. イントロダクション

1. 神のご計画の全貌（全体構造）を再確認！



2. 終末論の全貌（全体構造）を再確認！



3. 「ヨハネの黙示録」の全体構造を再理解！

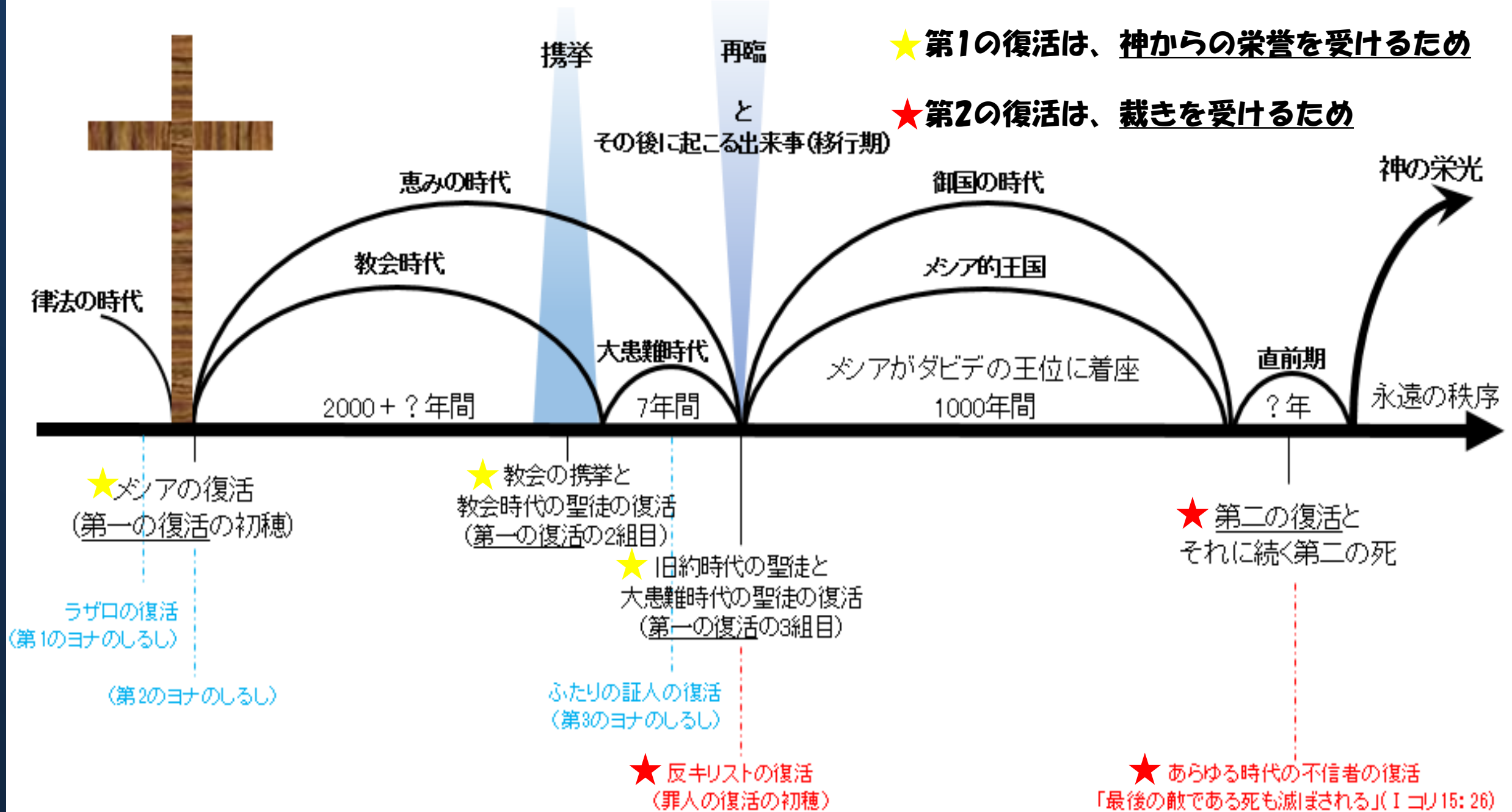
全体構造理解の大前提！

ティスペンセーションリズム

定義「ティスペンセーションとは
神の計画が進展していく過程において出現する
明確に区分可能な神の経緯（時代・時代区分）

- (1) 聖書を字義通りに解釈
- (2) イスラエルと教会を一貫して区別。
神がユダヤ民族と
アブラハム契約を結ばれたこと
それが永遠の契約であることを認める。
- (3) 歴史を貫くテーマは「神の栄光」

時代区分	過去					現在	未来	神の栄光 時間を 超越した 永遠の秩序 <u>黙21:1</u> <u>～22:5</u>
	① ～無垢の 時代～	② ～良心の 時代～	③ ～人間による 統治の時代～	④ ～約束の 時代～	⑤ ～律法の 時代～	⑥ ～恵みの 時代～	⑦ ～御国の 時代～	
聖書箇所	創1:28 ～3:8	創3:9 ～8:14	創8:15 ～11:32	創12:1 ～出18:27	出19:1 ～使徒1:26	使徒2:1 ～黙19:21	黙20:1 ～10	
中心人物	アダム	アダム	ノア	アブラハム	モーセ	パウロ	メシア	
1. エデン契約 聖書箇所	→ ・創1:26～31・創2:16～17							
2. アダム契約 聖書箇所		【2】→ ・創3:14～19						
3. ノア契約 聖書箇所			【3】→ ・創9:1～17					
4. アブラハム契約 聖書箇所				【4】→ ・創12:1～3 ・創12:7 ・創13:14～17 ・創15:1～21 ・創17:1～21 ・創22:15～18				
5. モーセ契約 聖書箇所					【5】→ ・出19:3～8 ・広くは出20:1～31:18			
6. 土地の契約 聖書箇所				→【6:土地】→	・申29:1～30:1 *特に申29:1に注目			
7. ダビデ契約 聖書箇所				→【7:子孫】→	・Ⅱサム7:11b～17(ソロモン強調) ・Ⅰ歴17:10b～15(メシア強調)			
8. 新しい契約 聖書箇所					→【8:祝福】→ ・エレ31:31～34			



序言「まえがき」(1:1～3) -----> 1:1「イエスキリストの黙示」
あいさつ(1:4～8) -----> 1:7「黙示録のテーマ」
Ⅰ．ヨハネが見た事：栄光に輝く人の子(1:9～20) ----> 1:19「黙示録のアウトライン」
Ⅱ．今ある事：教会時代(2:1～3:22)
Ⅲ．この後に起こる事(4:1～22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1～5:14)
2. 大患難時代(6:1～18:24)
 - (1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1～9:21)
 - (2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1～14:20)
 - (3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1～16:21)
 - (4)反復：2つの大バビロン(17:1～18:24)
3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1～20:3)
4. メシア的王国(20:4～6)
5. その後の出来事(20:7～15)

→ 再臨までのプロセス

→ クライマックスは再臨

6. 永遠の御国(21:1～22:5)

結論(22:6～21)

信頼に足る書(22:6～9)	76
神からの宣言のことば(22:10～15)	77
救いへの招き(22:16～17)	78
警告のことば(22:18～21)	79

← 第12回(12/24) ★

1) 1 : 1 「イエスキリストの黙示」

「1:1 イエス・キリストの黙示。これは、すぐに起こるはずの事をそのしもべたちに示すため、神がキリストにお与えになったものである。そしてキリストは、その御使いを遣わして、これをしもべヨハネにお告げになった。」

2) 1 : 7 「黙示録のテーマ」

「 1:7 見よ、彼が、雲に乗って来られる。すべての目、ことに彼を突き刺した者たちが、彼を見る。 地上の諸族はみな、彼のゆえに嘆く。 しかり。 アーメン。 」

3) 1 : 19 「黙示録のアウトライン」

「1:19 そこで、あなたの見た事、今ある事、この後に起こる事を書きしるせ。 」

黙示録の要点

(1)黙示録のテーマは、**主の再臨とそのプロセス**(黙1:7)

(2)再臨の条件は、**ユダヤ人の民族的回心**(ゼカリヤ12:10)

(3)終末論の出来事の流れ

携挙→大患難時代→ユダヤ人の民族的回心→メシアの再臨→千年王国

(4)大患難時代の反ユダヤ主義の最大目的は、霊的なもの**(再臨の阻止)**

(5)執筆経緯は「**迫害の中にいる人々**」と「**教会全体**」への励ましと矯正

「22:7 見よ。わたしはすぐに来る。この書の預言のことばを**堅く守る**者は、幸いである。」

「堅く守る」とは、「心に留め見張っている状態」を言います。

黙示録のテーマを理解し、主の大いなる再臨の日を待ちましょう！

そして再臨の条件であるユダヤ人の民族的回心を祈りつつ、教会としての責務を果たしましょう！

ユダヤ人に対する教会の責務まとめ

1. 福音を伝える ロマ1：16

- ①動詞は現在形。今も真理である。
- ②福音は、ユダヤ人に、次に異邦人に伝える。※パウロの伝道の原則でもある
- ③この原則は、あらゆる団体、個人、地域に適用される。

2. 物質的な物を分かち合う ロマ15：25～27

- ①異邦人は霊的な祝福をユダヤ人から受けた。
- ②それゆえ、物質的な祝福を届けるべきである。
※経済的な必要性 ※ユダヤ人伝道への支援

3. ユダヤ人のために祈る

- ①詩122:6 ②イザ62：1～2 ③イザ62：6～7 ④ロマ10：1

II.第12回) アウトライン

黙示録22章6節～21節

- (1) **22 : 6～9 「信頼に足る書」**
- (2) **22 : 10～15 「神からの宣言のことば」**
- (3) **22 : 16～17 「救いへの招き」**
- (4) **22 : 18～21 「警告のことば」**

III. 今後学ぶことの展望(最終回)

序言「まえがき」(1:1～3)

あいさつ(1:4～8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9～20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1～3:22)

III. この後に起こる事(4:1～22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1～5:14)

2. 大患難時代(6:1～18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1～9:21)

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1～14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1～16:21)

(4)反復:2つの大バビロン(17:1～18:24)

3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1～20:3)

4. メシア的王国(20:4～6)

5. その後の出来事(20:7～15)

6. 永遠の御国(21:1～22:5)

結論(22:6～21)

信頼に足る書(22:6～9)

76

神からの宣言のことば(22:10～15)

77

救いへの招き(22:16～17)

78

警告のことば(22:18～21)

79

← 第12回(12/24) ★

IV. 結論：恵み深く、憐れみ深い神の愛とは

- (1) 黙示録が特別な書であるとは？
- (2) 黙示録を受け入れる聖徒は？
- (3) 神の深い愛とは？それに応答するとは？
- (4) 黙示録・聖書の最後の節

このメッセージは、
黙示録の結論について学ぼうとするものである。

ここからが本論！

...

黙示録22章6節 ～22章21節

結論

～信頼に足る書～

～神からの宣言のことば～

～救いへの招き～

～警告のことば～

序言「まえがき」(1:1～3)

あいさつ(1:4～8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9～20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1～3:22)

III. この後に起こる事(4:1～22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1～5:14)

2. 大患難時代(6:1～18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1～9:21)

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1～14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1～16:21)

(4)反復: 2つの大バビロン(17:1～18:24)

3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1～20:3)

4. メシア的王国(20:4～6)

5. その後の出来事(20:7～15)

6. 永遠の御国(21:1～22:5)

結論(22:6～21)



信頼に足る書(22:6～9)

*神による認証

76

*天使による認証

*きょうの霊想: 著者の意図を読む

神からの宣言のことば(22:10～15)

77

救いへの招き(22:16～17)

78

警告のことば(22:18～21)

*警告のことば

79

*イエスの約束

76) 22:6~9 「信頼に足る書」

22:6 御使いはまた私に、「これらのことばは、信ずべきものであり、真実なのです」と言った。預言者たちのたましいの神である主は、その御使いを遣わし、すぐに起こるべき事を、そのしもべたちに示そうとされたのである。

22:7 「見よ。わたしはすぐに来る。**この書の預言のことばを堅く守る者は、幸いである。**」 22:8 これらのことを聞き、また見たのは私ヨハネである。私が聞き、また見たとき、それらのことを示してくれた御使いの足もとに、ひれ伏して拝もうとした。 22:9 すると、彼は私に言った。

「**やめなさい。私は、あなたや、あなたの兄弟である預言者たちや、この書のことばを堅く守る人々と同じしもべです。神を拝みなさい。**」

序言「まえがき」(1:1～3)

あいさつ(1:4～8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9～20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1～3:22)

III. この後に起こる事(4:1～22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1～5:14)

2. 大患難時代(6:1～18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1～9:21)

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1～14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1～16:21)

(4)反復:2つの大バビロン(17:1～18:24)

3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1～20:3)

4. メシア的王国(20:4～6)

5. その後の出来事(20:7～15)

6. 永遠の御国(21:1～22:5)

結論(22:6～21)

信頼に足る書(22:6～9)

76

神からの宣言のことば(22:10～15)

*封じてはならない

77

*再臨の約束

救いへの招き(22:16～17)

78

警告のことば(22:18～21)

79



77) 22 : 10～15 「神からの宣言のことば」

*第1の宣言(10節)

22:10 また、彼は私に言った。「この書の預言のことばを封じてはいけない。時が近づいているからである。

*第2の宣言(11節)

22:11 不正を行う者はますます不正を行い、汚れた者はますます汚れを行いなさい。正しい者はいよいよ正しいことを行い、聖徒はいよいよ聖なるものとされなさい。」

***第3の宣言(12節)**

22:12 「見よ。わたしはすぐに来る。わたしはそれぞれのしわざに応じて報いるために、わたしの報いを携えて来る。」

***第4の宣言(13節)**

22:13 わたしはアルファであり、オメガである。最初であり、最後である。初めであり、終わりである。」

***第5の宣言(14節)**

22:14 自分の着物を洗って、いのちの木の实を食べる権利を与えられ、門を通過して都に入れるようになる者は、幸いである。

***第6の宣言(15節)**

22:15 犬ども、魔術を行う者、不品行の者、人殺し、偶像を拝む者、好んで偽りを行う者はみな、外に出される。

序言「まえがき」(1:1～3)

あいさつ(1:4～8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9～20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1～3:22)

III. この後に起こる事(4:1～22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1～5:14)

2. 大患難時代(6:1～18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1～9:21)

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1～14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1～16:21)

(4)反復: 2つの大バビロン(17:1～18:24)

3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1～20:3)

4. メシア的王国(20:4～6)

5. その後の出来事(20:7～15)

6. 永遠の御国(21:1～22:5)

結論(22:6～21)

信頼に足る書(22:6～9) 76

神からの宣言のことば(22:10～15) 77

救いへの招き(22:16～17) 78

*キリストの宣言

*救いへの招き

*ぎょうの霊想: 神からのラブレター

警告のことば(22:18～21) 79



78) 22 : 16～17 「救いへの招き」

*キリストの宣言(16節)

22:16 「わたし、イエスは御使いを遣わして、諸教会について、これらのことをあなたがたにあかしした。わたしはダビデの根、また子孫、輝く明けの明星である。」

*救いへの招き(17節)

22:17 御霊も花嫁も言う。「**来てください。**」これを聞く者は、「**来てください**」と言いなさい。渇く者は来なさい。**いのちの水**がほしい者は、それをただで受けなさい。

序言「まえがき」(1:1～3)

あいさつ(1:4～8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9～20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1～3:22)

III. この後に起こる事(4:1～22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1～5:14)

2. 大患難時代(6:1～18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1～9:21)

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1～14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1～16:21)

(4)反復:2つの大バビロン(17:1～18:24)

3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1～20:3)

4. メシア的王国(20:4～6)

5. その後の出来事(20:7～15)

6. 永遠の御国(21:1～22:5)

結論(22:6～21)

信頼に足る書(22:6～9)

76

神からの宣言のことば(22:10～15)

77

救いへの招き(22:16～17)

78

警告のことば(22:18～21)

*警告のことば

79

*イエスの約束



79) 22 : 18~21 「警告のことば」

*第1の警告(18節)

22:18 私は、この書の預言のことばを聞くすべての者にあかしする。もし、これにつけ加える者があれば、神はこの書に書いてある災害をその人に加えられる。

*第2の警告(19節)

22:19 また、この預言の書のことばを少しでも取り除く者があれば、神は、この書に書いてあるいのちの木と聖なる都から、その人の受ける分を取り除かれる。

***イエスの約束(20節)**

22:20 これらのことをあかしする方がこう言われる。
「しかり。わたしはすぐに来る。」アーメン。主イエス
よ、来てください。

***祝祷(21節)**

22:21 主イエスの恵みがすべての者とともにあるように。
アーメン。

結論

IV. 結論：神が望んでおられること

(1) 黙示録が特別な書であるとは？

① 創造主である神が認証している書

また天使が認証している書

② 黙示録は、聖書の啓示全体をまとめた書

③ これを「堅く守り」(心に留め、見張っている状態)
歩む人は幸いである。

1:3 「この預言のことばを朗読する者と、それを聞いて、そこに書かれていることを心に留める人は**幸いである。**」

22:7 「見よ。わたしはすぐに来る。
この書の預言のことばを堅く守る者は、**幸いである。**」

(2) 黙示録を受け入れる聖徒は？

① ますます清潔に進む。

黙示録には「**励まし**」と「**矯正**」効果がある

② 黙示録の執筆経緯

「**迫害の中にいる人々**」と

「**教会全体(全時代の)**」への**励ましと矯正**！

(3) 神の深い愛とは？それに応答するとは？

①最後の最後まで罪人を招く**憐れみ深い愛**。

「ヘセッド」**神の恵み**とは、**契約に基づく神の愛**。

必ず約束を守られる神

②聖書は、神からのラブレターであり

イエスが全時代の教会に与えられた最後の啓示。

故に信頼できる書である。

③恵みの時代における教会の役割

我々は、乾く者に「来なさい」と招く。そして何を伝道すべきか？

純粋な福音の種をまくのは、教会の役割

1. **福音の三要素**

2. **救い(新生・義認⇒聖化⇒栄化)**

3. **神のご計画の全貌(8つの契約と7つの時代区分、最終ゴール)**

福音の種が蒔かれた人(招きの声を聞いた人)を

悔い改めに導くのは聖霊のお働き

(4) 黙示録・聖書の最後の節

- ① 「**主イエスの恵みがすべての者とともにあるように。
アーメン**」

黙示録の最後は、祝祷をもって終わる。
この「主イエスの恵み」の上に、万物が成り立っている。
初め(アルファ)であり、終わり(オメガ)であるお方。

- ② 「**しかし。わたしはすぐに来る。**」
再臨の時は、ますます近づいています。
神の時がきたなら速やかに起こります。
「**アーメン。主イエスよ、来てください。**」

これが私たちの祈りであり、応答である。

ともに携挙と再臨に備えようではありませんか！

では携挙・再臨に対する
私たちの備えとは？

モットー

「聖書研究から日本の霊的覚醒（目覚め）が」

学びと行動の両輪（ヘフル的な聖書理解とヘフル的な学び「体験的知識」）

「教理」と「実践」という二面性は、

「真理」と「愛」ということばで置き換えることができます。

「真理」（教理）と「愛」（実践）が調和した、真のクリスチャン生活を目指します。

聖書フォーラム運動の基本理念

「**自立と共生**」がキーワード。

- ・一人ひとりが、自立していること。
- ・お互いの個性を大切に、一緒に成長すること。

私たちの**ABC**

AIM … 聖書フォーラム運動の目的は、「神の栄光」を表し、求めること。
私たちは、この人生を通じ、神を誉め称えるために創られました。

BASIS … 私たちの土台は、ユダヤ的視点により聖書を解釈すること。
当時の人たちが理解した方法で、聖書を字義通りに理解します。

CONCEPT … 自主性を重んじ、経済的・精神的に自立した
お互い同士、小さなグループ同士が、ゆるやかにつながり合います。

自立への道

教会の病理現象（**FATIM**）からの脱却

①形式主義(**FORMALISM**)から自由主義(**FREEDOM**)へ

1. キリストにある自由
2. 愛を働かせるための自由

②権威主義(**AUTHORITARIANISM**)から自治(**AUTONOMY**)へ

1. 自給伝道
2. 自主運営

③伝統主義(**TRADITIONALISM**)から変革(**TRANSFORMATION**)へ

1. ユダヤ的聖書解釈
2. 神の国の視点

④内向き志向(**INWARD-LOOKING**)から外向き志向(**OUTWARD-LOOKING**)へ

1. キリスト教を世界観としてとらえる。
2. キリスト教を歴史観としてとらえる。

⑤会員志向(**MEMBERSHIP-ORIENTED**)から流動志向(**MIGRATION-ORIENTED**)へ

1. 歴史の流れと社会の現状を読む。
2. 自らの動機の再確認。

主イエスの恵みが
すべての者と
ともにあるように。
アーメン

